

手が大きかもんね。音あるけんね。

九州 いわが青春 サカんだし5

今日はあなじみ キングオブカンパ「かんくろう」の大親友「海ひこ」の話をしよう。「海ひこ」いい男である。おみこ自身もそう思っている。「よか男ね。ほんなこつ。ほれほれするばい。」
 「え？おれのこと？」「俺たい！俺。きまっとったーい。」まっこのような会話はいつもである。幼なじみの私達はある夢をいだいたことがある。それはまき米もない「かなし王座戦」である。もちろん決勝戦は決まっている。かんくろう VS 海ひこ。登場するのはかんくろうの力をもち、最強の「海ひこ」の登場。「かんくろう。海ひこ。うん戦がねえ。でも二人は仲が良かし、二人ともけんかしたら、どっちかが大けがすることはまちがいなかという事はわかっているね。二人ともせたいもめんもんね。」
 「首のたさ。鼻のたさ。目の輝き。口のまわりとしまっている顔たちは。そりゃーよか男よ。けんかする時はいきなりいくもね。『なんかソリゃー』とか『なんばがしつげおつとか』とか何ともいわん。相手がどっちなどちめい又ちかよって来たらいきなりパンチ!! よけるひまもなかつた。そしてまた手が大きかもん。あれでうたるとなす一発よ」



かんくろうと海ひこは、この大会で、最強の二人だ。

そんなうけさ通りの男である。なにせ切れるのが早い早い。そんなお者たちが「7人ばかりあるとたいい。かんくろうのまわりには、おー弾で「海ひこ」登場。うあー。なつかしかなー。この二人が、糸組んで戦ったあの大会の日。二人がうきうきして待っていた花火大会。なぜうきうきか? そりゃーけんかできるけん。そのために二人は上はトレーナー、下はジャージ。うごまやさいかこうで会場にいくんだよ。そんが、なんともおかしくてね。かけにかわいくなるんだ。

やけた顔の二人が、おそいのジャージきていてから、大会の実行委員がなんかとまちがえし、ちやうどおもしろいこつけいな、かこうになる。さて前おきはこあくしにして、花火大会のよう。この二人当日はさんさん量産。翌日は夕方までぐすりおねむしたのである。いったい誰から彼らに話をまいたのか? くれは、何と。無ほうにもこの最強タッグコンビにけんかを売った!! というバカなバカなかわいそうな男からたうたのである。花火大会の翌日、何台かのパトカーが出たという話を仲間としていた私が「早くかんくろうの花火話をまきたいなあー。」と聞いたと、むこうに包帯ぐるぐる巻きの男がたうたのである。

「こんちは……」とほくそ笑む方に、おつのである。「なんぬ! おまえ山ちゃん? どきやんたかい? そのけがは」
 「まいいましたばい。いんしん知らんて。『かんくろうさんとうみこさん』にけんかはうってしもうて、逆に舞うごつ...(足角ぶりに)打たれました。うあー!! 山ちゃん山ちゃんも強い。柔道二段よりよつなんてまたけんかになったのか... 「いやー! ばいん。かんくろうさんと海ひこは、戦い方がちがうでさあー」 なつたに!! おもしろなとこで決闘!



あんなにめいしばい好きですにー!! いたかあー!